

自分の想いを言葉にのせて

2010 関川中「わたしの主張」大会



中学生が日頃考えている意見や主張、普段の生活の中で感じる家族や仲間との絆などを発表する「関川中学校わたしの主張大会」が七月二十二日、関川中学校体育館で開かれました。

各学年から選ばれた代表六人が、六分以内という規定のなか、言葉一つひとつに心をこめ力強く発表しました。

審査の結果、村上・岩船地区大会（県村上健康福祉事務所主催）出場者に伊藤佳奈子さん（三年・南中）を選出。伊藤さんは、八月二十一日に行われた同大会で発表し、優秀賞を受賞しました。発表順。



平田希実さん
(2年・下関)

ことばに 思いを込めて

「ありがとう」は小さい頃から使ってきたことばです。しかしある出会で私の考え方が変わりました。中一の夏、家族連れの観光客に道を尋ねられました。その方から笑顔で「ありがとう」と言われ、私はとてもうれしい気持ちになりました。相手の本当の気持ちごとばに込められていたからです。これを活かせば私たちも人間関係がうまくいくのではないのでしょうか。学校生活での友達とのけんかも、素直な思いをことばにして伝えることで仲直りできました。現代はメールや電話で簡単に済ませることが多いですが、口に出して目を見て伝えることが大切です。ことばの使い方や選び方に気を付けていきたいです。



平田将太さん
(2年・小見)

仲間の大切さ

試合でミスをして落ち込むと、必ず励ましの声を掛けてくれる「仲間」がいます。仲間は心から信頼できる人、どんなときでも助け合える人です。野球で自分のミスで負けてしまったときでも仲間は助けてくれるので、いつも「みんなありがとう」と感謝しています。仲間と助け合い、協力することで共感でき、こうして目標達成したときの感動は、すばらしいものです。みなさんも仲間を見つけ、自分も仲間という存在になってください。日常生活でも周りに気を配ったり、困っている人がいたら手を貸したりすることが大切です。私自身が周りの人の大切な仲間になれるようにしたいです。



佐藤優太さん
(1年・大島)

祖母が教えてくれたこと

「埼玉の祖母がなくなった」と聞いて何がなんだか分からなくなりました。祖母は優しく、ほしいものは買ってくれる、孫には甘い人でした。祖母に会って涙が出ましたが、泣いていても祖母が喜ばないと思いました。葬式の列席者を見ていて、祖母がたくさんの人と元気に仕事をしていたことが想像できました。家族との別れは二度目でしたが、どちらも別れるのは悲しくていやでした。叔父が、火葬した骨を手でつかんでいました。大切な人を、汚ないようにはして持つのがいやだったのでしょう。祖母の死から家族の絆が分かってきました。これからは家族を大切にしていこうと思います。おばあちゃん、ありがとう。

「ありがとう」という気持ち

バレエボール部に入部。厳しい練習に進んで取り組む先輩をすごいと感じました。また先輩に教えてもらいながら練習の準備をするうちに部活動の大変さがわかってきました。

バレエ部は郡市大会で優勝し、下越大会では県大会を目指して最後まで精一杯戦いました。大会後の先輩に感謝の気持ちを伝えると、笑顔でこたえを返してくれました。

わたしは部活動を通して「ありがとう」の気持ちの大切さを学びました。「人は一人では何もできない」ということを実際に体験できました。これから、常に感謝の気持ちを心にもって生活していきたいです。



平田里奈さん
(1年・松平)

幸せを感じて

私は修学旅行で、東京のユニセフハウスを訪問しました。スタッフの方の説明を聞くうちに支援をする側の苦労やつらさがわかり、とても驚きました。五歳の誕生日を迎えられない子どもや学校へ通えない子ども話も聞きました。私たちが普通だと思っていることは実はとても幸せだということ、恵まれた環境の私たちが一日一日を大切に生きていかなければならないことを強く感じました。

自分の得た知識や技術を人のために役立てれば、周りへの余裕や優しさが出てくるはず。その繰り返しだから人と人の幸せな未来をつくるのではないのでしょうか。一日一日を大切に生きること、人の役に立てる幸せを感じていきたいです。



伊藤佳奈子さん
(3年・南中)

「自由道」

ぼくの黒帯には「自由道」という刺繍が入っています。始めはシャレのようだとおっしゃいましたが、あるときその本当の意味を知ることになりました。

それはぼくがスランプに陥り自分のなすべきことを見失ったとき、先生の一言がきっかけでした。「負けたくないじゃないか。自分の決めたこと、自分のできることをやれ。それがお前の柔道だ」その時ハツと気づいたのです。「そうだ、ぼくには体落としがある。自分の決めたこと、自分のやれることをやればいいのだ」自分を見つめ、何ができるか、何をなすべきかを考えること。自分の心で決めたいなら、迷わずその道を進めばいい。それこそが自由道の意味なんだと考えています。



加藤 聡さん
(3年・鮎谷)

関川中健児の活躍

*敬称略

下越吹奏楽 コンクール

期日 7月24日
会場 リューとぴあ
成績
金賞 関川中学校吹奏楽部

県中学校 総合体育大会

柔道

期日 7月26、27日
会場 長岡市市民体育館

成績
男子団体戦
第3位 関川中学校
女子団体戦
惜敗
男子個人戦
60kg級 第5位
加藤 聡(3年・鮎谷)
73kg級 第3位
高橋 慎(3年・大石)
90kg超級 第2位
小池 一毅(2年・下関)
北信越大会出場

北信越中学校 総合競技大会

女子個人戦
52kg級 第5位
須貝梨菜子(3年・高田)
57kg級 第7位
長谷川夏帆(2年・下関)
70kg級 第4位
佐藤 彩花(3年・下関)
期日 8月4日
会場 福井県立武道館

成績
男子個人戦
73kg級 第3位
高橋 慎(3年・大石)
90kg超級 第3位
小池 一毅(2年・下関)

